

83th REPORT

業務のご報告

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

いつも一緒に あなたのそばに



米沢信用金庫



2026年6月16日

会員各位

米沢信用金庫

理事長 加藤 秀明

第83期通常総代会報告並びに決議事項のお知らせ

6月15日開催の第83期通常総代会において、下記の通り報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

〈報告事項〉

第83期

自	2025年4月1日
至	2026年3月31日

 の業務報告

貸借対照表、損益計算書の内容報告の件

本件は上記計算書類の内容を報告いたしました。

〈決議事項〉

第1号議案 剰余金処分案承認の件

原案通り承認可決されました。

第2号議案 理事・監事任期満了に伴う選任の件

原案通り承認可決されました。

第3号議案 退任理事・監事に対する退職慰労金贈呈の件

原案通り承認可決されました。

第4号議案 理事の年額報酬限度額案承認の件

原案通り承認可決されました。

第5号議案 会員の除名（法定脱退）案承認の件

原案通り承認可決されました。

以上

ごあいさつ



理事長

理事長 加藤 秀明

清々しい初夏の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、皆様には平素より格別のご支援ご愛顧を賜り心より感謝申し上げます。

昨年度の世界経済は、地政学リスク、世界的なインフレ動向、各国金融政策の変化などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。我が国におきましては、物価上昇や人手不足への対応、金利環境の変化など、地域経済や事業者を取り巻く環境が大きく変動した年でした。

このような状況下、預金については、財産形成商品の積極的な推進により個人預金・法人預金ともに増加し、対前期661百万円増加の163,707百万円となりました。貸出金については、取引先企業への伴走支援や地域経済活性化の取組みを注力したものの、資金需要の変化等により、1,927百万円減少の65,219百万円となりました。損益については、システム面のセキュリティ強化や店舗の新築移転費用など経費は増大したものの安定的な資金運用収益確保により、経常利益1,126百万円、当期純利益は831百万円を計上し、過去最高益となりました。

また、地域活性化や社会貢献活動の取組みとして、地方公共団体や商工団体への寄付、米沢、南陽、長井、川西に桜や花桃など135本の植樹、チャリティリサイタル、子ども塾、少年サッカー大会の開催、街を明るくする本店看板のライトアップやイルミネーションの点灯などを行いました。

今年度は円安の長期化や原油やナフサなどの資源価格の高騰が懸念されますが、可処分所得増加による内需の持ち直しが期待されることから、地域経済は比較的順調な推移が予想されます。また、今年度は創立100周年の記念すべき年度であり、地域とともに歩む金融機関として、より一層のサービス向上と地域社会の発展に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【経営理念】

- 中小企業の健全な育成発展
- 豊かな国民生活の実現
- 地域社会繁栄への奉仕

協同組織に基づく地域金融機関である信用金庫には、中小企業の健全な育成発展、豊かな国民生活の実現、地域社会繁栄への奉仕という経営理念があります。当金庫においても、この経営理念の実現に向けて、役職員一同全力をあげて取り組んでいます。

米沢信用金庫のありたい姿

地域とお客さまのための 『頼れる信用金庫』

- ①地域・会員・お客様に親しまれ頼りにされていること。
- ②お客様の経営や生活に役立つ優れたサービス態勢を整えていること。
- ③信用金庫の使命を果たす為、役職員が明るく積極的に働いていること。
- ④職員の健康と生活向上に努めていること。
- ⑤地域を支え続けることの出来る事業規模と財務基盤を備えていること。



地域貢献活動



梯 剛之／ヴォルフガング・ダヴィッド チャリティ・リサイタル



第17回米沢信用金庫杯 サッカー大会



交通安全協会・子ども食堂へ寄付



米沢市へ「桜の木」寄贈



南陽市へ「桜の木」寄贈



長井市へ「桜の木」寄贈

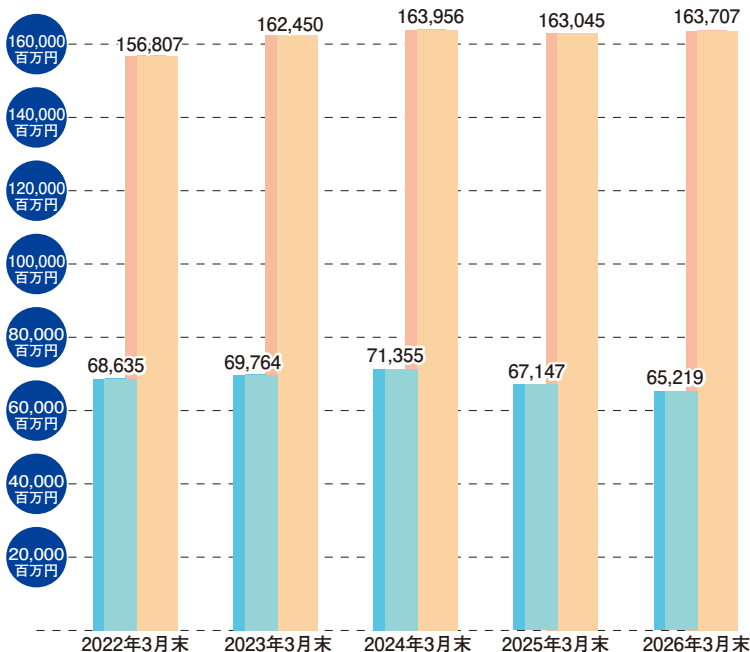


松が岬神社へ「花桃の木」寄贈

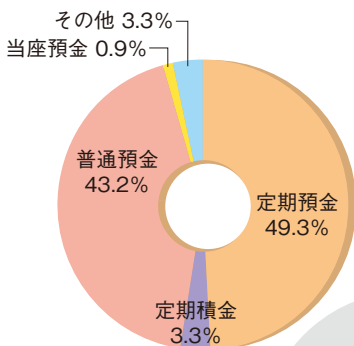
業績の推移

預金・貸出金の推移

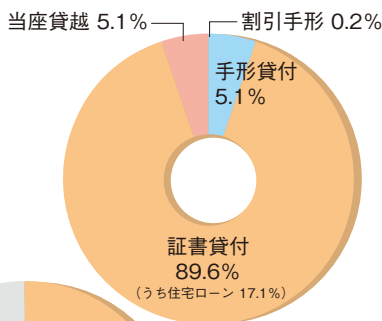
■ 預金
■ 貸出
 (単位：百万円)



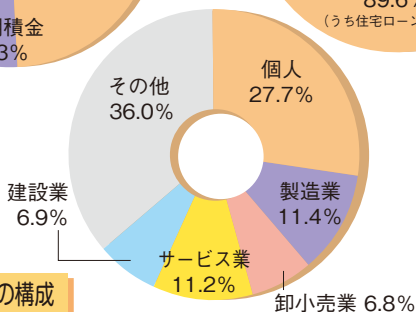
科目別預金残高の構成



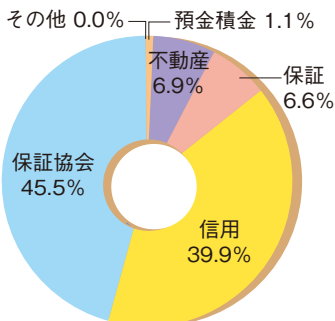
科目別貸出金残高の構成



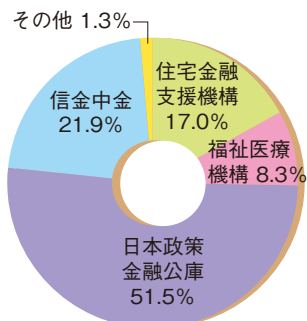
業種別貸出金残高の構成



担保別貸出金残高の構成



代理業務貸付残高の構成



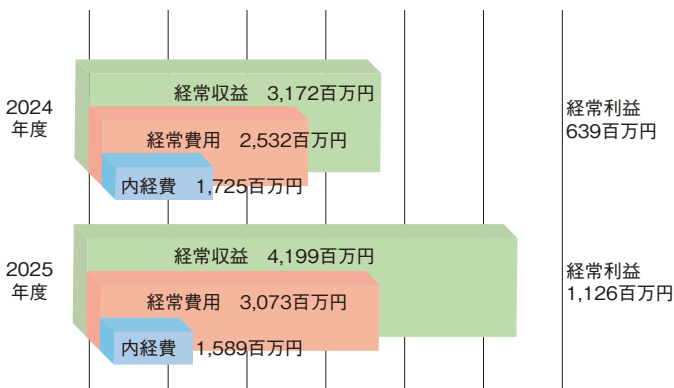
信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

項 目	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,862
危険債権	2,518
要管理債権	—
三月以上延滞債権	—
貸出条件緩和債権	—
小計(A)	4,380
保全額(B)	4,278
個別貸倒引当金(C)	785
一般貸倒引当金(D)	—
担保・保証等(E)	3,492
保全率 (B) / (A) (%)	97.66
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E)) (%)	88.50
正常債権(F)	61,595
総与信残高(A) + (F)	65,975

損益の状況

経常利益の推移



総資産利益率の推移

	2024年度	2025年度
総資産経常利益率	0.36%	0.63%
総資産当期利益率	0.21%	0.46%

$\text{総資産経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産計 (債務保証見返除く)}$
 $\text{総資産当期利益率} = \text{当期利益} \div \text{総資産計 (債務保証見返除く)}$

役務取引の推移

年度	役務収益 (百万円)	役務費用 (百万円)
2024年度	230	188
2025年度	233	193

$\text{役務収益} = \text{為替手数料} + \text{代理貸付手数料} + \text{口座振替手数料} + \text{その他手数料}$
 $\text{役務費用} = \text{支払為替手数料} + \text{信用保険料} + \text{その他手数料}$

内国為替

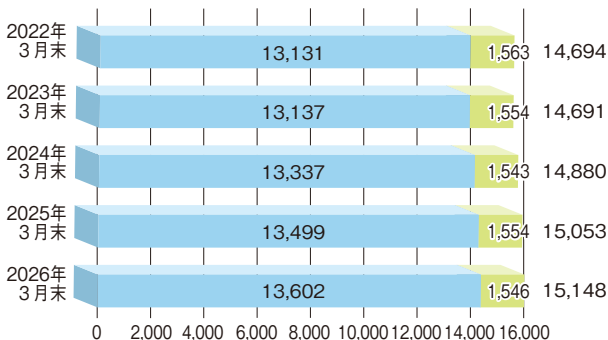
(単位：件、百万円)

区分	送金・振込為替		代金取立		
	件数	金額	件数	金額	
2025年度	仕向為替	303,364	166,804	2,094	6,472
	被仕向為替	386,254	180,754	2,276	6,379

会員数の推移

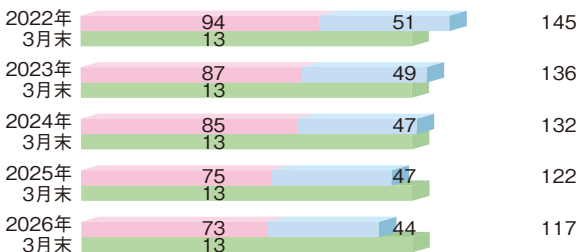
個人 法人

(単位：人)



役員数の推移(パート含む)

男性(人) 女性(人)
店舗(数)



自己資本の状況

(国内基準)

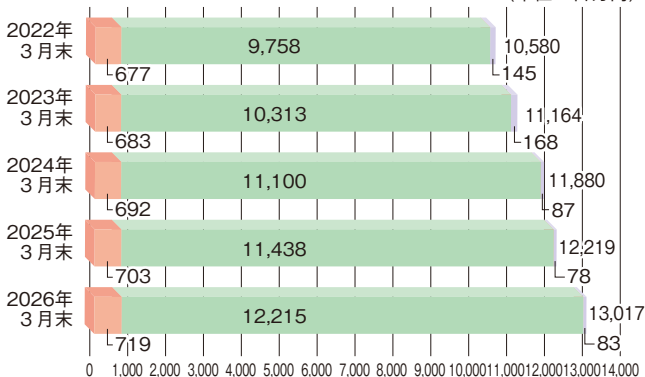
自己資本比率の推移

	2025年3月末	2026年3月末
自己資本比率	18.17%	16.81%

自己資本の推移(剰余金処分後)

出資金 諸積立金他 引当金

(単位：百万円)



貸借対照表

第83期 2026年3月31日現在

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	1,978	預金積金	163,707
預け金	51,031	当座預金	1,392
買入金銭債権	562	普通預金	70,761
金銭の信託	0	貯蓄預金	902
有価証券	58,752	通知預金	194
国債	7,125	定期預金	80,788
地方債	1,283	定期積金	5,355
社債	20,086	その他の預金	4,311
株式	5,862	借用金	1,725
その他の証券	24,395	その他負債	473
貸出金	65,219	未決済為替借	18
割引手形	159	未払費用	178
手形貸付	3,313	給付補填備金	5
証書貸付	58,447	未払法人税等	100
当座貸越	3,298	前受収益	25
その他資産	1,031	払戻未済金	—
未決済為替貸	11	払戻未済持分	2
信金中金出資金	812	職員預り金	53
前払費用	—	金融派生商品	14
未収収益	191	その他の負債	76
その他の資産	16	賞与引当金	63
有形固定資産	1,881	役員退職慰労引当金	125
建物	1,112	責任共有制度引当金	87
土地	539	睡眠預金払戻損失引当金	3
建設仮勘定	—	繰延税金負債	—
その他の有形固定資産	228	債務保証	567
無形固定資産	14	負債の部合計	166,753
ソフトウェア	10	(純資産の部)	
その他の無形固定資産	3	出資金	719
前払年金費用	378	普通出資金	719
繰延税金資産	50	利益剰余金	12,628
債務保証見返	567	利益準備金	703
貸倒引当金	△869	その他利益剰余金	11,924
(うち個別貸倒引当金)	(△785)	特別積立金	7,410
		当期末処分剰余金	4,514
		(当期純利益)	(831)
		会員勘定合計	13,347
		その他有価証券評価差額金	499
		評価・換算差額等合計	499
		純資産の部合計	13,847
資産の部合計	180,600	負債及び純資産の部合計	180,600

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

第83期 (2025年4月1日から
2026年3月31日まで) (単位: 千円)

科 目	金 額
経常収益	4,199,257
資金運用収益	2,666,100
貸出金利息	1,130,646
預け金利息	194,986
有価証券利息配当金	1,319,513
その他の受入利息	20,954
役員取引等収益	233,516
受入為替手数料	88,248
その他の役員収益	145,267
その他業務収益	62,422
外国為替売買益	8,766
国債等債券売却益	28,290
国債等債券償還益	88
その他の業務収益	25,278
その他経常収益	1,237,218
貸倒引当金戻入益	—
償却債権取立益	—
株式等売却益	1,235,487
金銭の信託運用益	—
その他の経常収益	1,730
経常費用	3,073,169
資金調達費用	315,672
預金利息	305,366
給付補填備金繰入額	4,261
借入金利息	5,777
その他の支払利息	267
役員取引等費用	193,713
支払為替手数料	15,741
その他の役員費用	177,972
その他業務費用	836,827
外国為替売買損	—
国債等債券売却損	743,971
国債等債券償還損	91,526
金融派生商品費用	—
その他の業務費用	1,329
経費	1,589,134
人件費	839,839
物件費	649,926
税金	99,368
その他経常費用	137,821
貸倒引当金繰入額	70,249
株式等売却損	—
株式等償却	—
その他資産償却	—
その他の経常費用	67,571
経常利益	1,126,088
特別利益	—
固定資産処分益	—
特別損失	0
固定資産処分損	0
減損損失	—
税引前当期純利益	1,126,088
法人税、住民税及び事業税	304,544
法人税等調整額	△9,504
法人税等合計	295,040
当期純利益	831,047
繰越金(当期首残高)	3,683,502
当期末処分剰余金	4,514,550

剰余金処分

(単位: 円)

科 目	金 額
当期末処分剰余金	4,514,550,842
積立金取崩額	0
利益準備金限度超過取崩額	0
計	4,514,550,842

これを下記のように処分します。

(単位: 円)

科 目	金 額
剰余金処分量	36,934,831
利益準備金	15,688,750
普通出資に対する配当金 (年3%の割合)	21,246,081
特別積立金	—
繰越金(当期末残高)	4,477,616,011

上記の通りであります。

2026年6月

理事長 加藤 秀明
専務理事 渡部 昭弘
常務理事 後藤 守男
常勤理事 加藤 博良
理事 内藤 文徳
理事 近藤 哲夫
理事 青木 茂

以上の書類を精査し、その正確なる事を認めます。

常勤監事 鏡 勝彦
監事 沼澤 清美
監事 安部 敏
(員外)

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書は、柴田真人公認会計士事務所 公認会計士 柴田真人氏の監査を受けております。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。